

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1階

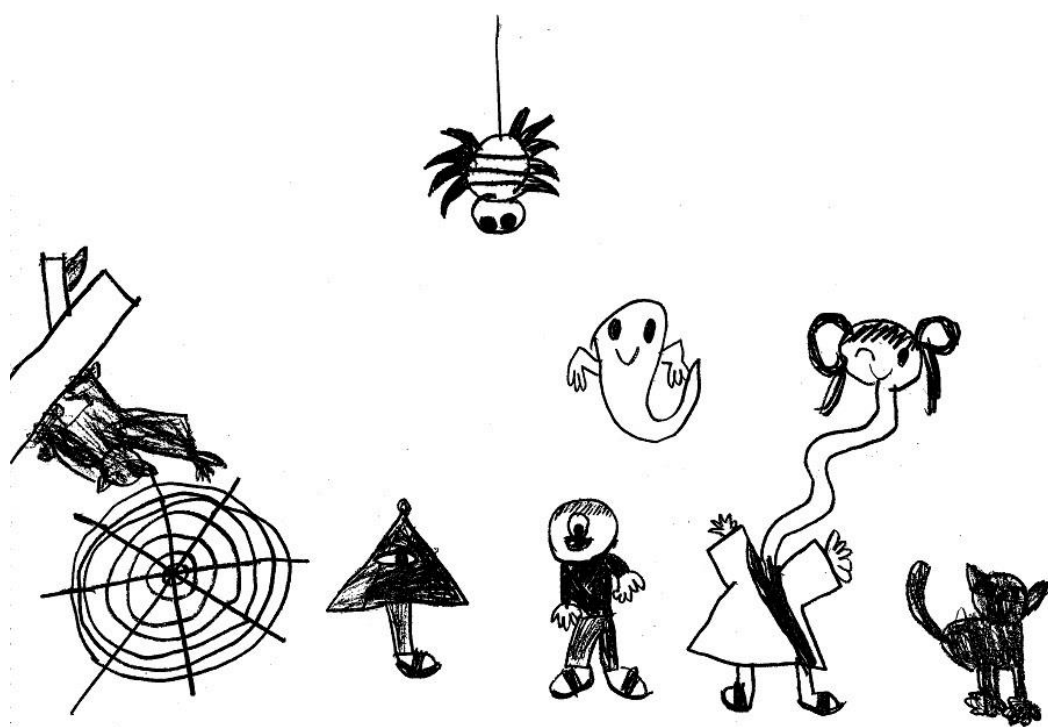
TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17時



タイトル「きもだめし」



とうじょうことみ
東城琴史さん 5歳（年長）

<あおぞら編集委員ボランティア募集>

「あおぞら」の編集会議に参加してみませんか？興味が沸いたらご連絡ください。

愛知県被災者支援センターニュース「あおぞら」では、編集委員を募集しています。紙面作りを通して、被災者へ情報発信や支援を行います。毎月1回の編集会議は、和気あいあいとした雰囲気です。紙面構成を決めた後は、分担して取材や記事執筆依頼を行います。見学だけでも可能です。

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？初めての方でも安心して参加できます。

9月10日号の予定			9月25日号の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	9月9日（水）	午後	封入作業	9月24日（木）	午後	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722（渡邊）
発送作業	9月10日（木）	午前	発送作業	9月25日（金）	午前	

名古屋市子ども・若者総合相談センター

名古屋市子ども・若者総合相談センターは、名古屋「栄駅」テレビ塔近くの「教育館」5階で、2年前の6月から開所しています。概ね39歳までの名古屋市在住の方が、あらゆる悩みに関してご相談いただけるセンターです。ニート、ひきこもり、不登校、非行など、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者の相談を行い、その子ども・若者の状況に応じた支援機関をご紹介します。

◆相談の流れはこのようなになっています。

- ① まずは、お悩みを抱えたご本人やご家族から、お電話をいただきます。
- ② 資格を持った相談員が、じっくりお話を伺います。
- ③ ご本人の問題解決や、将来への一步をふみ出すために必要な、支援機関や医療機関、居場所や相談先などをご紹介します。
- ④ ご紹介の際に、支援機関までご本人に同行することもできます。
- ⑤ ご本人が外出できない状態にある場合、ご家庭を訪問してお話を伺うこともできます。



＜相談対応中のスタッフ＞

◆悩んでいるみなさんへ◆

「人とうまく話せない」「学校に行きたくない」「仕事が続かない」「親とうまくいかない」「自分に自信が持てない」などなど、どんな悩みでも、あなたの今の不安をきかせてください。たくさんの悩みをひとりで抱えていると、将来がとても不安でやりきれない気持ちになると思います。でも、一人で考えず、私たちと一緒に考えることで、今よりちょっと肩の荷物をおろしてくださったら嬉しいです。今すぐ、働いたり学校に戻ったりすることを、ゴールにしなくてもいいのです。私たちは、あなたの将来をあなたのペースで一步步進んでいけるように、応援したいと思います。まずは一度、お電話ください。

困っている時、悩んでいる時、ひとりでその悩みを抱えるのは、とても苦しいですね。あなたの今のお気持ちを聞かせていただき、一緒に次の一步に向かって考えることができたと思います。解決方法や正しい道筋は、決してひとつではありません。一緒に試行錯誤をしながら問題を解決して、安心して楽しく暮らしていける方法を考えていきましょう。まずは子ども・若者総合相談センターまで、お電話ください。

(名古屋市子ども・若者総合相談センター センター長 渡辺ゆりか)

インフォメーション＜子ども・若者総合相談センター＞

名古屋市子ども・若者総合相談センター	問合せ：TEL 052-961-2544	
所在地：名古屋市中区錦3-16-6 名古屋市教育館5階		
時 間：10:00～17:00	休館日：日曜日	QRコード*
豊橋市子ども・若者総合相談窓口	問合せ：TEL 0532-29-8070	
所在地：豊橋市牟呂町字東里26 豊橋市青少年センター研修棟3階		
時 間：10:00～17:00（木曜：16:00まで）	休館日：土・日曜日	QRコード*
春日井市子ども・若者総合相談	問合せ：TEL 0568-82-7830	
所在地：春日井市鳥居松町5-44（市役所2階）		
時 間：15:00～19:00	休館日：日曜日	QRコード*

※上記以外にも一宮市、大府市、田原市、北名古屋市にも相談窓口があります。

基本的にそれぞれの市内にお住まいの方が対象となります。

詳細は県の「子ども・若者の相談窓口」ページより確認できます。



QRコード*

リレートーク

2011 年の年明け早々地震がありました。毎日、地震が多く会社ではよく「大きな地震くるのかなあ？」と冗談のように言っていました。3 月 11 日午前中に地震があり、「また地震？」と思っていました。この地震が午後のあの地震に繋がるとは思っていませんでした。

午後 2 時 46 分、今まで体験したことのない揺れを感じました。天井のエアコンの蓋がパカパカと外れ、頭の上の蛍光灯が大きく左右に揺れ、今にも床に落ちてきそうでした。揺れが弱くなると建物から離れた駐車場に避難し、揺れるたび同僚と手を握り頭の中は真っ白な状態でした。しばらくすると帰宅するようにと指示があり、自宅に帰りました。家には、義両親・長男・次男。瓦も外壁も壊れることなく無事でしたが、三男がまだ小学校から帰っていなかったので、次男と車で迎えに行きました。通常車で 5 分もかからない距離でしたが、道路は渋滞。別道を行けば遮断機が下りていて渡れず、また別道。その道も陥没していたり、瓦も落ちて通れず車を路肩に止め、歩いて迎えに行きました。学校からの帰り道の事は何も記憶がないです。よほどテンパっていたのでしょう。

地震の後、我が家のライフラインは全滅。今、自分たちの置かれている状況が全くわかりませんでした。情報は携帯と車のナビだけ。余震が続くため外にいと

空には、ほこりの様な煙。津波が来ていることも知らず眺めていま



した。地震後の天候は雨が

＜津波の被害に遭った家々＞

降り、その後雪になりました。気温が下がってくるので石油ストーブで暖をとりました。近所のスーパーやコンビニに行っても、あまり品物が無く、水の代わりに氷を購入し溶かして使いました。石油ストーブでお湯を沸かしガス釜で米を炊き夕飯

をとりました。明かりはローソクでとり、余震のたび、消したりつけたりして、あまり睡眠をとれないまま、翌朝早く起き外の様子を見に行くと国道 6 号線から東側の風景は、湖のようになっておりました。点在していた家もなくなって瓦礫ばかりでした。

これからこの町はどうなるか、不安でいっぱいでした。でも、子どもたちの前では不安な顔はできない。3 月 12 日、義妹から連絡がありました。「逃げろ、原発が危ない」義弟からも…。家族と相談し、避難することにしました。運転手は私 1 人、5 人乗りの車に 6 人乗り、親戚がいる千葉県松戸市に向かいました。不慣れな長距離、道路の状況は陥没や地割れ塀は倒壊。路肩には車の列…ガソリンスタンドの列でした。何度か間違っ、その列に並んでしまいました。幸い車には満タンに近い量が入っていたので、何とか親戚宅に着きました。原町から 9 時間かかりました。温かいご飯とお風呂を用意して待っていてくれました。すごくありがたかったです。千葉県には 2 週間お世話になり、義両親を残し私と子どもたちは夫が単身赴任している愛知県へ移動しました。

夫のワンルームアパートに 5 人での生活が始まりました。しかし夫は 1 週間もしないうちに、海外に長期出張であてになりません。問題を自分 1 人で解決していくしかありませんでした。子どもの学校の手続きや新しいアパートの契約等。幸いアパートは借り上げに該当しましたが、手続きのため何度も県庁に足を運び時間がかかりました。学校も近くで手続きをしました。

愛知県での生活も 4 年が過ぎます。言葉・気候・交通量も原町とは比べ物にならないくらいの都会。だいぶ慣れて電車の乗り継ぎも上手になりました。もうしばらく愛知県にお世話になります。そしていずれは原町に戻りたいです。自分の家に…。

最後に、いつもお米を送っていただいている飛島村の皆さん、被災者センターの皆さん、いつもありがとうございます。とても感謝しております。

(避難元福島県南相馬市 黒木由美子)

インタビュー

福島第一原発事故の直後に、福島県浪江町から名古屋市に避難した大胡晴美さんのお話を伺いました。

浪江中学校そばの自宅で被災しました。震災の晩は電気もつき、「自宅は大丈夫、片付ければ住める」と家族でコタツを囲み、テレビが映す「仙台の津波映像」に驚き、親戚宅の安否を確認し、はじめて浪江町の津波被害の大きさを知りました。



震災翌日の朝7時、防災無線による総理大臣命令で、浪江町内北西方向の津島地区に緊急避難しました。高齢の両親、高校生の三女、近所の一人暮らしの女性と助け合い、自家用車に乗り合わせました。ガソリン給油や長いトンネル内の大渋滞など不安の中、ようやく津島に着いた時、福島第一原発1号機の爆発を知りました。携帯電話でやっと連絡がとれた二女は、福島第二原発に勤務中で、只々その身の無事を祈るばかりでした。

防災無線の指示で避難した安全なはずの津島で、白い防護服を着た人達を見かけ、「なぜ？」と不思議でした。現地の放射線量がとても高かったことは、後で知りました。地元消防団のハッピーからは、高い放射線量の数値が出たそうです。

3号機の爆発後、津島から二本松市の廃校の体育館へ、マイクロバスで移動しました。二本松では放射線検査を受け、汚染への不安から避難所の人々は緊張感に満ちていました。3月17日まで二本松で過ごし、名古屋で勤務中だった夫や東京の知人からの助言で、県外避難を決意。でも高齢の両親は、「行政の指示に従う」と避難所にそのまま残りました。三女を連れて栃木県的那須塩原駅まではタクシーを使い、手荷物だけで東京行きの新幹線に乗りました。

その後、名古屋で心配して待っていた夫と、す

ぐに新生活の段取りを整えました。行政や周囲の温かな支援もあり、名古屋の市営住宅や県立高校での受け入れはスムーズでした。

震災から1年半後、原発から10km圏の自宅に取り残されていた飼い猫が、無事にNPO団体に保護され、家族のもとに戻ってきました。飼い猫を受け入れるために、市営住宅を出て、民間の借り上げ住宅へと移りました。そこは名古屋市内でも緑豊かな地域で、散歩をすると心が和みます。うれしいことに、この新しい住まいには、震災後1年半の間ずっと東電社員として福島第二原発に勤務していた二女も、移り住んできました。原発事故後、4ヵ月間も免震棟に缶詰め状態で収束作業にあたった二女は、そのとき痛感した「食生活の大切さ」を学びたいと、名古屋市内の大学に新しい進路を定め、現在は、管理栄養学科の3年生です。

浪江町の自宅は今、居住制限地域にありネズミに荒らされています。大切な家具も難人



＜無人の商店街通り＞

形も、もう取り戻せません。親しかった人々の心が、賠償金の金額でバラバラになっていくことが悲しく、言葉になりません。健康面にいくつか不安はあるものの、何とか身内が元気なことが救いです。

震災前は、親子で原発推進派でした。震災1年半後まで、二女は東電社員でした。家族内でも意見は一致してはいませんが、もう原発はなくなった方が良いでしょう。こうした言葉を口にするためには勇気が必要でした。でも誰かに聞いてほしい「一番良いのは、原発をなくすこと」。今では、心からそう思っています。

(あおぞら編集委員 中村友恵)

招待企画紹介 ～高浜市やきものの里かわら美術館～

夏休みのある日、子どもと高浜市にある高浜市やきものの里かわら美術館に「馬、たてまつる」の展示を観に行ってきた。高浜市には、「おまん」と呼ばれる馬の祭礼があります。丸太を組んだ柵で囲った円形馬場の中で、若者たちが走る馬に飛びつき、人馬一体となって駆け抜けていく祭礼です。今年は高浜市制 45 周年を迎え、「おまん」にちなんで、「馬」をテーマにした展覧会が開催されていました。

かわら美術館に着くと、玄関前で大きな焼き物のシャチホコがお出迎え、早速記念写真をパチリ。中に入ると馬に乗った曹操と劉備の吉浜細工人形が展示されていて、迫力がありました。日本に馬がやってきたのは、今から 1600 年程前の古墳時代のように、馬の祖先に始まり進化の様子や馬と人々との関わりが馬具や絵などで分かりやすく説明されていました。また、神聖な動物として神社に奉納されるなど、信仰の側面でも重要な存在であることがよく分かりました。中でも、那須与一の名場面を描いた平家物語図屏風はとても見応えがあり素晴らしかったです。この他にも第 36 回有馬記念優勝馬「ダイユウサク号」を育てた高浜市出身の騎手・調教師内藤繁春さんの資料など、サラブレッドに関する品々も興味深いものでした。人々の暮らしの中に深く関わり愛され続けてきた馬の存在を再確認でき、観にきて良かったなと思いました。

かわら美術館では陶芸の体験講座も随時行われていて、8 月に行われるハロウィンのランプシェードを作る講座の申し込みまでしっかりしてきました。展覧会を観た後はお隣にある、焼き物のオブジェで飾られた森前公園を散策しながら、瓦のまち高浜市を堪能しました。

(あおぞら編集委員 伊藤和美)



＜玄関前のシャチホコ＞



＜三国志の登場人物の吉浜細工人形＞



＜市民の憩いの場となっている森前公園＞



高浜市やきものの里かわら美術館

所在地：高浜市青木町 9-6-18

時 間：9:00～17:00

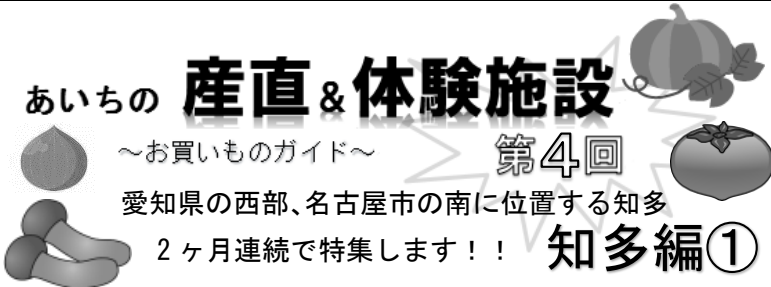
問合せ：TEL 0566-52-3366

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

12月28日～1月1日



QRコード



あいちの産直&体験施設

～お買いものガイド～

愛知県の西部、名古屋市の南に位置する知多

2ヶ月連続で特集します！！

第4回

知多編①

産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



武豊町は知多半島の東側中央部に位置し、人口 42,744 人（平成 27 年 4 月 1 日現在）。鉄道と港に古い歴史があります。沿岸部にはヨットハーバーや海浜公園があり、浦島橋や竜宮神社など浦島太郎伝説に触れることもでき、河川やため池、水田は四季折々の表情を見せ、西部の丘陵地には散策路のある自然公園もあります。ゆったり休日にお出かけください。



PICK UP

JA あぐりタウン げんきの郷

場 所： 大府市吉田町正右エ門新田 1-1

T E L： 0562-45-4080

営 業 日： 毎日（毎月最初の平日が休み）

営業時間： 9:00～18:00



2000 年 12 月 23 日にオープンした「農」と「食」をテーマとする都市農村交流複合拠点施設です。主な施設にはファーマーズマーケットやレストラン、温泉、農業研修施設などがあり、週末にはイベントも開催されています。体験農園では野菜の収穫体験ができるほか、知多半島産のもち麦や米粉を使ったオリジナル商品の販売も行っているのにおすすめです。

<知多の産地直売所&ふれあい体験施設>

No	施設の名称	住所・場所	営業日	営業時間	連絡先
①	ファーマーズマーケット ブリオ 本店	半田市吉田町 4-173	毎週木～火曜日	10:00～18:00	0569-20-5410
②	多賀の里 農畜産物直売所	常滑市苅屋字洞の脇 126-2	毎週火～日曜日	9:00～15:00	0569-34-8630
③	産直販売所 おはよう君	大府市吉田町 3-28	毎週水～月曜日	9:30～16:30	0562-48-6681
④	佐布里朝市	知多市佐布里台 3-101	毎週土曜日・日曜日	7:30～12:00	0562-54-2911
⑤	直売ひろば生路	知多郡東浦町大字生路字門田 15-1	火・水・金・土曜日	8:00～12:00	0562-83-2083
⑥	ジョイフルファーム鵜の池	知多郡美浜町大字上野間字中新田 10	年中無休	8:30～17:00	0569-87-6080
⑦	グリーンセンター武豊	知多郡武豊町向田 60-1	毎週木～火曜日	9:00～18:00	0569-72-1631

●産直施設の営業時間は異なることがありますので電話で確認されると安心です。

施設のホームページからも詳細を確認いただけます。



旬のお出かけ情報

～秋のお祭り～



残暑はまだまだ厳しいですが、愛知の秋はイベントや、勇壮な「秋祭り」などが盛りだくさん。見て満足。食べて満足。参加して満足。皆さんもぜひ、愛知の秋をさまざまな形で満喫してください！今月号では、9月半ばから後半のお祭りをご紹介します。思い出作りに出かけて行ってみたいはいかがでしょうか。



PICK UP

第14回 にっしん夢まつり

開催場所： 日進市役所周辺

開催日： 9月20日（日）

問合せ先： 0561-73-2196（日進市産業振興課）



「夢おどり」ではメインステージとセカンドステージで、市民参加のパフォーマンスやチーム演舞を1日観て楽しむことができます。他にも「夢花火」や「夢屋台」など、お祭りらしい出しものも揃っています。暑さも落ち着くこの季節に、出かけてみてはいかがでしょうか。

<愛知県内の秋のお祭り一覧>

開催日	名称	開催場所	問合せ先
9月12日（土）	星空おながく祭 2015	東栄野球場（北設楽郡東栄町）	東栄町企画課 0536-76-0502
9月12日（土）～ 13日（日）	ふるさと全国県人会まつり	久屋大通公園、久屋広場 （名古屋市中区）	読売新聞中部支社事業課 052-211-0083
9月12日（土）～ 13日（日）	せともの祭	尾張瀬戸駅前、瀬戸川沿い、市内一円（瀬戸市）	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会 0561-85-2730
9月13日（日）	芝馬祭	浅野地区、白山社（一宮市）	一宮市観光協会 0586-28-9131
9月18日（金）～ 10月4日（日）	ごんの秋まつり	岩滑地区、矢勝川沿い（半田市）	半田市観光協会 0569-32-3264
9月19日（土）～ 20日（日）	田原祭り	田原市街地周辺	渥美半島観光ビューロー 0531-23-3516
9月20日（日）	秋葉まつり	知立神社（知立市）	知立神社 0566-81-0055
9月26日（土）～ 27日（日）	尾張横須賀まつり	東海市横須賀町	東海市観光協会 0562-32-5149
9月26日（土）～ 27日（日）	諏訪南宮神社祭典	本郷大森付近（北設楽郡東栄町）	東栄町経済課 0536-76-1812

●詳しい情報は主催者のホームページからご確認ください。

各イベントの開催日は変更または中止となる場合もございます。

主催者にご確認のうえお出かけください。



スタッフ紹介 ～ 事務局 榊原春香 ～

支援センターのスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第12回は事務局スタッフの榊原春香です。



今年の3月に大学を卒業したばかりの最年少スタッフです。震災が起きた半月後に大学に入学した私は、自分にもなにかできることはないかと考え、これまで愛知県で避難生活を送られている皆さまを対象にした交流会を開催してきました。

ですので、お会いしたことがある方もいらっしゃいますね。昨年の12月に大学で開催した交流会では、皆さまにお会いできるのは最後かもしれないと寂しさを感じていましたが、こうしてまたお話しできる機会に恵まれてとてもうれしく感じています。

センターでの担当は、主に交流会です。5月と6月には東浦町で農作業体験交流会に参加し、じゃがいもの収穫などをしました。まだまだ未熟者ですが、心のよりどころになるようなスタッフを目指しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★子どもがラーメンをとろうとして、こぼして火傷をしてしまいました。年齢があがってきた頃こそ、特に目を離してはいけないなと反省しました。(Y.Y)
- ★3人の子どもが幼い頃、関東・関西間の帰省の渋滞中、前の車のナンバーで数字や地名を覚えたものだ。今や愛知在住が一番長い。(K.T)
- ★赤十字幼児安全法支援員養成講習を受講してきました。(J.I)
- ★エアコンを使うと外気温が上がる。誰が最初にクーラーを使ったんでしょうね。(H.T)
- ★先日、ウェブマガジン「greenz.jp」編集長の講演会を受講しました。お話をうかがうにつれ視点が誰かにそっくり。東北のご出身。とてもうれしかったです。(E.K)

<9月の交流会等イベントカレンダー>

開催日	イベント名	開催地域
9月1日(火)～ 6日(日)	あいち国際女性映画祭 2015	東区
9月11日(金)	マザーズ就職応援ミニフェア	中村区
9月12日(土)	第27回パッチワーククラブ	東区
9月12日(土)、 13日(日)	ふるさと全国県人会まつり 2015	中区
9月19日(土)	第35回 囲碁クラブ交流会	東区
9月20日(日)	めぐりあいサロン	熱田区
9月26日(土)	第28回パッチワーククラブ	東区
9月26日(土)	連合愛知コンサート名フィルと共に チャイコフスキー大好き！	東区
9月30日(水)	里山を歩きましょう	千種区

あおぞらに関する ご意見ご感想はこちら

〒460-0001
名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
愛知県被災者支援センター
TEL: 052-954-6722
FAX: 052-954-6993
mail: aozora@aichi-shien.net



QRコード



●詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。

皆様のご参加をお待ちしております。